

旭市青少年意見発表大会

旭市青少年意見発表大会は、市内の小学5年生から25歳までの青少年が、日ごろ何を考え、何を求めているかを発表する機会として、市教育委員会と旭市青少年育成市民会議の主催により、毎年11月に千葉県東総文化会館で開催しています。本大会は平成17年度から開催され、今回で13回目になります。

それぞれの思いを力強く発表



意見を発表する琴田小の鈴木さん

本年度は小学生7人、中学生3人、高校生1人、青年2人の計13人が、将来の夢や今取り組んでいること、学校生活で考えたことなどについて発表しました。

約300人の来場者の前で発表するため、本番前には緊張している人もいましたが、演台前に立つとしっかりと前を

向き、自分の伝えたいことを元気よく発表していました。

青少年が発表する主張に聞き入って静寂だった会場も、それぞれの発表後には大きな拍手に包まれていました。

小学校音楽部によるアトラクション

毎年、意見発表終了後にアトラクションとして、市内小学校音楽部の演奏を行なっています。このアトラクションも意見発表大会の見所の一つです。今年は豊畑小音楽部の32人が「ロッキーのテーマ」や、昨年流行した「恋」など5曲を演奏しました。最後の校歌の演奏では歌を交えて、素晴らしい音色と歌声で観客を魅了し、会場を大いに盛り上げてくれました。

意見発表を終えて

閉会式では発表者一人一人に教育長の講評があり、最後には全員で記念撮影を行って、大盛況のうちに幕を閉じることができました。

この大会が、明日の社会を築いていく若き青少年の健全育成の一助となることを願っています。



記念写真

第18回 みんなの学校自慢



干潟中伝統の行事

干潟中1年 白井 凜佳さん

干潟中は旭市北部に位置する学校で、校舎の北側には東総運動場や大原幽学記念館があり、南側には干潟八万石が広がっています。

学校ではたくさんの行事がありますが、中でも干潟中ならではの行事が二つあります。

一つ目は「掃除に学ぶ会」です。これは、みんなが素手でトイレ掃除をするという驚きの会です。初めは抵抗がありましたが、終わると達成感や爽快感でいっぱいになり、自分の心まできれいになったような気持ちになります。とてもためになり、貴重な体験ができる行事です。私たちは普段から「無言清掃」を行っていますが、この会

でさらに掃除に対して積極的に取り組めるようになりました。

二つ目は「地元の高校生に学ぶ会」です。これは毎年1年生が対象で、旭農業高等学校生産技術科の皆さんが育てた苗を、みんなで一緒に植える会です。高校生の皆さんから、苗の植え方や肥料のやり方に関する知識を丁寧に分かりやすく教えてもらい、協力して楽しく学ぶことができます。この花が咲くことで、冬の寂しい花壇を華やかに彩ってくれます。

干潟中は全校生徒が149人でとても少ないですが、このように生徒一人一人が全ての行事に対して、149的に活動する活気ある楽しい学校です。



高校生から指導を受けながら植え込み作業